

こころんねっせ



マスコットキャラクター「こころん」

第47号

2022年2月発行

この4人は、昭和区でどんな活動に取り組まれているでしょうか？



特技

三好 宏和さん

長年続けている車いすツイーンバスケットボールでは、試合にも出場しています。



仕事

今井 陽子さん

パソコンを使ってデータ入力管理とオンラインで英語を教えています。

仕事
久保 博揮さん

不登校やひきこもりの若者の支援をしています。



趣味

伊藤 千佐子さん

子どものころに見た踊りが忘れられず、憧れていたフラダンスを習っています。今、夢がかないました。



答えは次のページに...

ふだんのくらしのしあわせのまなび

共に生きる地域づくりを進めるために、“教える”、“教えられる”の関係性ではなく、地域における活動の中に「ふくし」の学びがあるという視点から、学校での福祉教育の場や地域において、様々な人と人との交流を大切にしています。

高齢者や障害などの体験と当事者講師との交流を通して、「誰もが誰かの力になれる」、「助けること、助けてもらうことの勇気」、「まわりに関心を持つことの大切さ」を伝えています。

車いすユーザー

当事者講師 みよし ひろかず 三好 宏和 さん



講座内容

- 1 自己紹介
- 2 車いすの操作方法、注意事項の説明
- 3 車いす体験
(二人一組になり、1人が車いす操作、1人が困ったときの補助役になる)
学校の中や外などを車いすで移動。車いすで普段利用している場所や道を移動することで、気づきにつながります。
- 4 体験後の感想、質疑応答

講師からのメッセージ

まちには様々なバリアがあり、障害のある私たちにはまだまだ住みやすいまちとは言えません。車いす体験は、障害理解の為のひとつの手段です。障害のある私たちのことを知ってもらい、バリアフリーな誰もが住みやすいまちづくりをめざしています。

視覚障害

当事者講師 くぼ ひろき 久保 博揮 さん



講座内容

- 1 事前に普通の生活の様子の動画を視聴
- 2 自己紹介、作詞作曲したピアノ演奏と歌の披露
- 3 生活の中のユニバーサルデザインの紹介
- 4 アイマスク体験
(自分の指に絆創膏を貼る、じゃんけん)
- 5 質疑応答

生徒からは、「服はどうやって決めるの?」「信号のない横断歩道はどうするの?」「掃除のしかたは?」「まちにあったらいいなと思うものは?」などたくさんの質問から交流が深まりました。

講師からのメッセージ

「目が全く見えない」と聞くと、絶望的に感じてしまう方が多いと思います。「できること」「できないこと」を正しく理解していただき、障害があっても楽しく生きられることが伝わればと思っています。

先生からのメッセージ (区内小学校3年生で総合学習の時間に実施しました。)

普通の生活の様子を見て、ぶつからずに歩いたり、ピアノを弾いたりしていることに、子どもたちは驚いていました。子どもたちは、「困っている人がいたら優しく手助けしたい」と福祉への関心を高めました。互いに助け合って生活するために必要なことを、これからも考えていきたいと思っています。

視覚障害 当事者講師 いまい ようこ 今井 陽子 さん

講座内容

- 1 事前に普通の生活の様子の動画を視聴
- 2 自分が視覚障害になったらどうする？(目をつむってイメージする)
- 3 アイマスク体験(じゃんけん、席替え、3分間静かにして耳を澄ます、ペアで散歩)
- 4 見えなくてもできたこと、気づいたことの発表
- 5 自己紹介
- 6 視覚障害者を見かけたときの接し方
- 7 質疑応答



講師からのメッセージ

目が見えないと、できないことがたくさんあります。「困っている人を助ける」って？「助けてもらう勇気」って？アイマスク体験を通じて、「できない自分だからこそできることって何だろう。」自分なりの気づきや、答えを見つけてみよう！

聴覚障害 当事者講師 いとう ちさこ 伊藤 千佐子 さん(左) ボランティア通訳者 やまざき ようこ 山崎 陽子 さん(右)

講座内容

- 1 耳が聞こえない人は誰かを当てるクイズ(聴覚障害者は見た目では分からない)
- 2 「聞こえにくいこと」とは
 - ・耳が遠いとは違う・生活の中での工夫
- 3 コミュニケーションの種類
 - ・手話・空書・身振り・筆談・口話・指文字
- 4 声のかけ方の説明
- 5 手話体験(自分の名前を手話で表す)
- 6 干支を指文字で表すクイズ
- 7 質疑応答



講師からのメッセージ

私が参加する手話サークルは音や声がなく静かですが、手話での日常的な会話にはぎやかです。「手話通訳者になりたい」、「ボランティア活動をしたい」、「耳が不自由になった自分自身のために」と手話を習いたいと思っている方は、見学にいらして下さい。お待ちしております。

先生からのメッセージ (区内中学校1年生で総合学習の時間に実施しました。)

最初、生徒は伊藤さんの手話を山崎さんが通訳するという形の講演に戸惑っていましたが、伊藤さんの豊かな表情や分かりやすい手話から、徐々にその思いを受け止めることができるようになっていきました。すると、休憩の時にはたくさんの生徒が伊藤さんを囲んで質問したり、手話体験の時には一生懸命に手を動かしたりして楽しそうでした。また、体験後には「日常生活の中で困っている人がいたら助けてほしい」「声で会話をするという、私たちの当たり前は当たり前じゃなかった」などと感想を書いていて、中学生がこれから生きていく上で、とても大切な貴重な経験をすることができたと思います。

本ページ掲載以外にも「高齢者疑似体験と高齢者との交流」、「知的障害者疑似体験と知的障害者との交流(ポッチャゲーム)」、「こころの病気についての講話」、「ボランティアについて」、「認知症について」など、学習会実施の支援を行っています。ご質問やご希望がございましたら、本会までご連絡ください。

地域の高齢者の見守り活動

さまざまな団体や機関によって見守り活動が行われています。ここでは、その一部をご紹介します。

民生委員児童委員

65歳以上のひとり暮らしの方や75歳以上の夫婦世帯を中心に訪問し、見守りや困りごとの相談などを伺っています。必要に応じて、地域支えあい事業や、いきいき支援センターなど支援機関につなげたり近隣の方との情報共有を行うこともあります。こうしたことを通じて、ご本人の思いに少しでも寄り添って解決に向かうよう活動しています。今後も同じ地域住民としての立場から、顔が見える活動を続けていきます。また、地域の実情に応じて、配食や会食会に取り組むなど、様々な方法で見守りを行っています。

吹上学区における配食を通じた見守りの様子



民生委員がコミュニティセンターで高齢者に配る弁当を受け取ります。



担当地区の高齢者の方たちに民生委員が配達することを見守っています。

いきいき支援センター(いきいきコール)

いきいき支援センターでは、ひとり暮らしの高齢者などが孤立状態に陥らないよう、見守り支援員と見守りスタッフがボランティアと協力して見守り支援を行っています。いきいきコールは安否確認や孤独感解消等を目的として、週1回など定期的にお電話により世間話を交えながら、生活上の困りごとについても伺い、早期対応に努めています。



いきいき支援センターで見守り活動に取り組む、職員とボランティア



いきいきコールでボランティアがお話ししている様子です。

区役所 高齢者福祉相談員

昭和区役所福祉課の高齢者福祉相談員です。

65歳以上のおひとり暮らしの方、75歳以上の高齢者のみの世帯の方について、ご自宅を訪問して、生活や健康についてお尋ねをし、名古屋市の事業などをご案内しています。また、来庁による相談も受け付けています。お困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました。

今年度は桜花学園高校インターアクトクラブのみなさんとのコラボによりオリジナルポーチを作成しました。

学校法人桜花学園 桜花学園高等学校
インターアクトクラブの皆さん



インターアクトクラブは、昭和区内のサロン活動や
共同募金運動にご協力をいただいています。

たくさんの募金が集まって、
木のように育ち、枝(羽根)が様々な
支援活動となり広がっていく様子を
イメージしました!



コラボグッズのイラストを考案した
3年生 本田結女さん

ポーチは区社会福祉協議会窓口にて500円以上のご寄付をいただいた方にお渡ししています。

こころんクイズ

以下の文字を4音で読むとき、何と読むでしょう!

① 暁 ② 拇 ③ 闌

例 1 2 3 4 音
古 → い に し え

ご応募いただいた方の中から、抽選で3名の方に
図書券を差し上げます。ハガキかFAX、メールにクイズの
答え、氏名、住所、今月号のご感想をご記入の上、昭
和区社会福祉協議会までお送りください。締切は令和4年
2月28日必着。当選者の発表は図書券の発送をもってか
えさせていただきます。

●本号に掲載した各活動は新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めて行っております。撮影時期や状況によりマスク等を着用していない写真も含まれておりますが、ご理解くださいますようお願いいたします。また、活動内容等は、新型コロナウイルス感染症の影響で変更・中止となる場合があります。



編集委員からの一言

- 障害児の親の私は助けて欲しい時がたくさんあります。でもお仕事やボランティアでは支援する側という時もある。出来る時に出来ることをさせていただいています。 Y・T
- 昭和区の皆さんの助け合い活動が、当たり前に見える昭我区を目指そう。 M・H



車いす貸出事業のご案内

一時的に車いすを必要とする区民の方に車いすの貸し出し(無料)を行っています。

詳しくは昭和区社会福祉協議会までお問い合わせください。

社会福祉法人名古屋市昭和区社会福祉協議会

〒466-0051 名古屋市昭和区御器所三丁目18-1
電話：884-5511 FAX：883-2231 E-mail：fukushi@showaku-shakyo.jp

ホームページ 昭和区社会福祉協議会 ホームページQRコード➡
<https://www.showaku-shakyo.jp/>



目の不自由な方へ、この情報誌「こころん」を録音したCD・点字版の貸し出しを行っています。(無料)

編集・発行 社会福祉法人名古屋市昭和区社会福祉協議会

交通のご案内 ■地下鉄：鶴舞線「荒畑」駅4番出口から徒歩5分 ■市バス：栄20系統「荒畑」下車、金山26系統・昭和巡回系統「御器所四丁目」下車

